

大好き図書館！

いっしょによもう、いっばいよもう

第63回こどもの読書週間

4月23日(金)～5月12日(水)はこどもの読書週間です。
今年もいろいろな催しを企画しています。是非、図書館に遊びに来てください。

期間中の主なイベント

- 一日図書館長（4月25日(日) 午後1時～2時）
市内の小学校の6年生2人が一日図書館長になって、いろいろな体験をします。
- 端午の節句フォトブース（5月5日(祝)）
フォトブースで写真撮影をしよう。
- 【期間中開催】
- 図書リサイクル会
- 博物館連携スタンプラリー
図書館と博物館の問題に答えてスタンプをもらおう！
- 小学生向け貸出しクジ
10冊借りた小学生はクジを引けます。何が当たるかはお楽しみ！

- 「春を探しに」図書館クイズ
図書館に貼ってある、春の花の図柄を探して問題に答えよう。
※詳細は図書館だよりや図書館に備え付けのチラシをご覧ください。

来館者の皆さんへお願い

- ・自宅検温し、熱などの風邪症状がある場合は来館をご遠慮ください。
- ・手指の消毒、マスクの着用、咳エチケットで飛沫感染防止にご配慮ください。

開館時間やサービスの内容は状況によって変更になる場合があります。詳細は、右記二次元コードから確認、又は図書館にお問い合わせください。



おいでよ！
おはなし会

- とき
4月10日(土) 午後3時～
4月24日(土) 午前11時～
- ところ
児童コーナー

4月の休館日（○…休館日）

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

新刊情報

うみがめのおじいさん
いとうひろし/作
講談社



ひろいうみのすみからすみまでたびをしてきたうみがめのおじいさん。そのたくさんのおもいでがおじいさんのところとからだをつくっていく。『おさるのまいにち』の名脇役・うみがめのおじいさんが主人公のおはなし。

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 - 近世日本の教育遺産として - (人物編 亀井南冥)

淡窓・咸宜園と交流のあった文人・墨客たち⑩

閩世界遺産推進室（咸宜園教育研究センター内） ☎ 20268



廣瀬淡窓の師である亀井南冥は、福岡の儒学者として、また、医者、教育者、漢詩人として有名です。淡窓は幼少の頃より南冥の名をよく耳にしており、16歳のとき、亀井塾に入塾することができました。そのときの南冥の印象は「先生、時に歳五十五、容貌奇偉非常なり。（略）眼光人を射ることを覚ゆ。」と記しています。亀井塾で主に経書・文章は息子の昭陽に学び、漢詩は南冥に学んだとされています。しかし、淡窓は18歳の冬、大病にかかりやむなく退塾しました。亀井南冥は、字を道載といい、寛保3（1743）年、筑前国早良郡姪浜浦（福岡市）の医師亀井聰因の長男として生まれました。初め徂徠学を学び、次いで大坂で医学と儒学を学び、福岡で医業の傍ら私塾を開いていましたが、36歳のとき福岡藩の儒員に抜擢されます。福岡藩は、天明4（1784）年に、朱子学派の東学問所「修猷館」と徂徠学の西学問所「甘棠館」の二校の藩校を創設します。南冥は「甘棠館」の学長となりますが、南冥の学問所の方が圧倒的に人気があったといわれ、私塾の兼業も許されていました。ところが、寛政2（1790）年に幕府の寛政異学の禁が出され朱子学が正学とされたあと、突然に酒席の不行跡を理由に蟄居を命ぜられ、学問所の任も解かれました。私塾も他国人の入門を禁ぜられました。淡窓は把木で医師の内山玄斐の養子

に入り、入門できました。南冥は志気豪放で経学・詩文ともによく、直言の人といわれたため、妬みを買ったといわれています。その後、長く不遇な生活を送ることとなります。文化11（1814）年に住んでいた隠宅が焼けて、南冥はその中から焼死体で見つかり、72歳で亡くなっています。淡窓はすぐに福岡に赴き弔問しています。南冥の墓所は西新の浄満寺にあり、その時の悲しみを詠んだ「南冥先生の墓に謁す」という漢詩があります。淡窓は、南冥について「先生、極めて教育に長ぜり。けだし其の人才を愛すること天性に出でたり。其の教導の術、抑揚測り難し。要するに其の人をして憤発踴躍自ら止むこと能はざらしむるに在り。」と、その教育者としての優れた資質を述べていますが、淡窓自身もそれに倣ったものと思われれます。南冥の主な著書である『論語語由』は、もつとも優れた論語の注釈書の一つとされています。また、志賀島で発見された金印を鑑定し、「後漢書」東夷伝等を引用してその由来を説明した「金印弁」も著しています。



▲亀井南冥肖像画（(公財)能古博物館所蔵）

コラム

心の架け橋

日田市障がいによる差別を解消し誰もが心豊かに暮らせるまちづくり条例

平成31年4月に「日田市障がいによる差別を解消し誰もが心豊かに暮らせるまちづくり条例」を制定し、今年度で3年目を迎えます。

この条例は、平成28年に国で制定された「障害者差別解消法」に基づく条例です。障がいがあってもなくても、誰もが互いに尊重しあいながら、共生する日田市づくりを行うために制定しました。条例のポイントは右記のとおりです。

今年度も引き続き、この条例に関わる市の事例をコラムで紹介いたします。分かりやすい内容で、できるだけ身近な話題をコラムにしていきたいので「障がいによる差別を解消し誰もが心豊かに暮らせるまちづくり」

と一緒に考えていきましょう。

- 第7条 障がい者への差別および虐待を禁止します。
- 第8条 障がいや障がい者への相互理解を促進します。
- 第9・10条 社会的障壁の除去のための合理的な配慮を提供します。
- 第11～17条 トラブル解決の仕組みを作ります。

※社会福祉課では、障がいや障がい者への理解促進や条例に関する出前講座を行っています。地域や会社、学校現場など、無料で講座を行いますので、お気軽に下記までご連絡ください。

☎ 社会福祉課障害福祉係 ☎ 8290（市役所1階）

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ

豚肉のみそ漬け焼き



- 材料■（2人分）
- 豚もも薄切り肉 140g
- たまねぎ 60g
- ★みそ 大さじ1/2

<作り方>

- ①たまねぎは皮をむいて薄くスライスする。
- ②豚肉は食べやすい大きさに切り、★の調味料に漬け込む。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、豚肉を炒める。
- ④豚肉に火が通ったらたまねぎを加え、さらに炒める。

豚肉には疲労回復をサポートするビタミンB1が多く含まれています。4月は気温や環境の変化で疲れがたまりやすい時期なので、豚肉などの栄養価の高い食べ物をバランスよく食べて元気に乗り切りましょう！

- ★しょうゆ 小さじ1/3
- ★みりん 小さじ1/3
- ★料理酒 小さじ1
- ★上白糖 小さじ1
- ★豆板醤 少々
- サラダ油 小さじ1

☎ 健康保険課健康支援係 ☎ 3000（ウエルピア内）